

京都府立宇治支援学校中学部の学び

～作業学習～

作業学習は、作業活動を学習の中心にしながら、働く意欲を培い、将来の職業生活や社会的自立に必要なことからを総合的に学習します。

作業に向かう気持ちを作るために作業服に着替えることから始め、始まりや終わりのあいさつ、作業が終わった時の報告、やり方が分からない時に先生に聞けること等、将来の職業生活の基本となることから身に付けるとともに、単純な作業の繰り返しではなく、作業そのものの意味を学びます。作業をすることで感謝され、「自分達が人の役に立っている」という役立ち感や達成感、充実感を味わい、今自分達がしている作業にどのような意味があるのか、何ができるのか、どのように使われるのかといったことを実感し、将来社会に出て働くことへの意欲を培います。

また、同じクラス、同じ学年と一緒に作業に取り組み、自分の得意なことや不得意なこと、友達の得意なこと不得意なことにも気づき、互いのできることを認め合い、作業を分担して協力してやり遂げる経験を重ねることで、自己理解や他者理解を深めることも大切にしていけます。

中学部3年生 作業学習「UJI クリーニング」の取組

中学部3年生が取り組んでいる作業学習「UJI クリーニング」は、全校の教室で使っている給食時の台拭きを回収し、洗濯、アイロン掛けしたものを袋に詰めて、各教室に再配付します。衛生面に気を付けながら、全校の人たちが気持ちよく台拭きを使えるように、丁寧に作業しています。配付後は、学校中から感謝のメッセージが届きます。みんなからの「ありがとう」が次の作業の意欲につながり、毎回の作業に一生懸命取り組んでいます。

